

レース公示

- 1 競技会名 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2010
- 2 共同主催 社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟(以下J.J.Y.U.と云う)
東京都ヨット連盟
- 3 期 日 平成22年7月30日(金)、31日(土)、8月1日(日)
- 4 会 場 若洲ヨット訓練所
〒136-0083 東京都江東区若洲3丁目1番1号
連絡電話 03-5569-6703 (指定管理者 若洲シーサイトパークグループ)
※ 開会式・国際交流会会場： マリナーズコート東京
〒104-0053 東京都中央区晴海4-7-28
連絡電話 03-5560-2521
※ 競技海面： 東京湾若洲沖 (上級者用、初級者用の2海面使用)
※ 閉会式会場： 若洲ヨット訓練所内
- 5 競技種目 ①OP級初級者 ②OP級上級者 ③レーザー4.7
④シーホッパー級SR ⑤ミニホッパー級
⑥セーリングスピリッツ級 ⑦FJ級 ⑧420級
- 6 日 程
(1) 第1日目：7月30日(金)
9：00～14：00 受付・帆走指示書配布 (若洲ヨット訓練所内本部受付)
12：30～ トライアルレース (予告信号予定時刻12：30)
16：00～17：00 開会式 (会場：マリナーズコート東京)
17：00～17：30 安全講習会 (会場：同上 選手、指導者・保護者全員参加)
17：30～17：50 競技説明会 (会場：同上 競技役員、指導者・保護者参加)
18：00～20：00 国際交流会 (会場：同上 国内外選手、指導者・保護者及び
競技会役員参加)

(2) 第2日目：7月31日(土) 種目別スタート順番とスタート予告信号予定時刻

A(上級者)海面		B(初級者)海面	
種目	予告信号予定時刻	種目	予告信号予定時刻
セーリングスピリッツ級 FJ級 420級 上記3種目同時スタート	第1レース 09:25	OP級初級者	第1レース 09:25
レーザー4.7 シーホッパー級SR ミニホッパー級 上記3種目同時スタート	第1レース 09:30		
OP級上級者	第1レース 09:35		
引続き第2～第5レースを実施します。この日は16時を過ぎてからは予告信号を発しません。			

※天候等の諸条件により第6レースを行う場合があります。その場合、本部艇にF旗を掲揚し予告信号はF旗降下(音響信号1声)後1分後に発せられます。

(3) 第3日目：8月1日(日) 種目別スタート順番とスタート予告信号予定時刻

A(上級者)海面		B(初級者)海面	
種目	予告信号予定時刻	種目	予告信号予定時刻
セーリングスピリッツ級 FJ級 420級 上記3種目同時スタート	当初最初のレース 08:55	OP級初級者	当初最初のレース 08:25
レーザー4.7 シーホッパー級SR ミニホッパー級 上記3種目同時スタート	当初最初のレース 09:00		
OP級上級者	当初最初のレース 09:05		
引続き第2～第5レースを実施します。この日は16時を過ぎてからは予告信号を発しません。			

15:30～16:30 閉会式 (会場：若洲ヨット訓練所内)

※以上、競技日程は天候等によりやむを得ず変更されることがあります。

7 適用規則

- (1) 2009－2012セーリング競技規則(以下RRSという)に定義された規則を適用します。
ただし、帆走指示書によって変更された部分を除きます。
- (2) 主催者広告の表示を要求します。

8 帆走指示書

帆走指示書は平成22年7月30日(金)の受付時に配布する競技会プログラムに記載します。事前には平成22年7月上旬までにJ.J.Y.U.と東京都ヨット連盟のホームページで公開します。

- ・ J.J.Y.U.のURL <http://www.jiyu.net>
- ・ 東京都ヨット連盟のURL <http://www.tsaf.com/>

9 レース回数

- (1) 各種目とも2日間で7レースを予定しますが1レースの成立をもって競技会は成立しません。
- (2) 7レースが成立した場合は、最も悪いレースの得点を除外した合計得点で順位を確定しますが、それ以外は全てのレースの合計得点を計算して順位を確定します(付則A2を変更するものです)。

10 得点方法と順位確定方法

(1)種目別個人対抗レースの得点方法と順位確定方法

- ① パンパシフィックジュニアヨット種目別個人対抗レースの成績は国内選手と海外選手を合わせた全選手の着順、得点により順位を確定します。
- ② 国内ジュニアヨット種目別個人対抗レースの成績は上記①の成績に基づいて国内選手の順位を確定します。
- ③ 順位の確定は付則A4の「低得点方式」を適用します。

(2)ジュニアヨットクラブ対抗レースの順位確定方法

前項(1)の種目別個人対抗レースの成績結果を用いて次の方法によりジュニアヨットクラブ対抗レースの順位を確定します。

- ① 各ジュニアヨットクラブの選手が参加している全種目の内、種目に拘わらず、上位3艇の成績の順位を合計します。
- ② 各ジュニアヨットクラブの本競技会の参加艇数が3艇以上の場合、3艇を超える超過分1艇につき－1点の評価点を加算し、その加算は－5点を限度とします。
3艇に満たないときは3艇に不足する分だけ1艇につき最多参加艇数の種目の最下位の順位を加算します。
- ③ その結果、順位の合計が低いジュニアヨットクラブを優位とすることにより順位を確定します。
- ④ 結果が同順位の場合は合計参加艇数の多いジュニアヨットクラブの方を優位とします。

3艇の順位で上位の艇がある方を優位とし、更に同じ場合は参加艇数の多い種目での上位の艇がある方を優位として順位を確定します。

- ⑤ パンパシフィックジュニアヨットクラブ対抗レースの成績は国内ジュニアヨットクラブと海外ジュニアヨットクラブを合わせた全クラブの上記①から④より計算した順位により順位を確定します。
- ⑥ 国内ジュニアヨットクラブ対抗レースの成績は上記⑤の成績に基づいて、国内ジュニアヨットクラブの順位を確定します。

11 コース 添付図の通りです。

12 表彰

(1)個人表彰

①特別表彰(文部科学大臣表彰、国土交通大臣表彰、他)

各種目の国内最高順位選手には次の通り特別表彰の賞状、賞杯を授与します。

- ・OP級上級者の最高順位選手に文部科学大臣の賞状と大臣杯及び奥村純雄杯
- ・OP級初級者の最高順位選手に国土交通大臣の賞状と大臣杯及び小澤吉太郎杯
- ・レーザー4.7の最高順位選手に東京都知事杯
- ・シーホッパー級SRの最高順位選手に海王丸杯
- ・ミニホッパー級の最高順位選手にYMFS理事長杯
- ・FJ級の最高順位選手に江東区長杯(＊)
- ・セーリングスピリッツ級、420級の最高順位選手に東京都ヨット連盟会長杯(＊)

【注意事項】

※シーホッパー級SRの参加選手数がレーザー4.7の参加選手数を上回る場合は、東京都知事杯はシーホッパー級SRの最高順位選手に授与し、海王丸杯はレーザー4.7の最高順位選手に授与することにします。

※東京都ヨット連盟会長杯は参加艇数が6艇未満となった種目には授与されず、その場合は連盟表彰のみになります。

②連盟表彰

- ・各種目の国内上位入賞者第1位から第3位にはメダルを授与します。
 - ・各種目の国内上位入賞者には、次の通りJ.J.Y.U.会長の賞状を授与します。
 - P級初級者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・第1位から第10位
 - P級上級者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・第1位から第8位
 - レーザー4.7、シーホッパー級SR、ミニホッパー級・・・・第1位から第6位
 - セーリングスピリッツ級、FJ級、420級・・・・第1位から第3位
- 但し、いずれの種目も参加艇数が6艇未満の場合は第1位から第3位までとします。

③国際交流表彰

国際交流個人賞として海外選手が参加する種目において国内外を問わず上位入賞者第1位から第3位には特別協賛表彰のアビームカップ(*)とJ.J.Y.U.会長の賞状を授与します。

(2)団体表彰

①国内ジュニアヨットクラブ対抗レースの表彰

- ・優勝チームにはJ.J.Y.U.会長の賞状と会長杯を授与します。
- ・2位、3位にはJ.J.Y.U.会長の賞状と会長盾を授与します。

②パンパシフィックジュニアヨットクラブ対抗レースの表彰

国際交流団体賞として上位入賞チーム第1位から第3位には特別協賛表彰のアビームカップ(*)とJ.J.Y.U.会長の賞状を授与します。

(3)特別賞

国内ジュニアヨットクラブ対抗レースの優勝チーム(選手3名)を海外研修に派遣、その渡航費を援助します。

※上記の(*)以外の賞杯は持回りとし、翌年返還時にはレプリカを授与します。

13 参加資格

(1)J.J.Y.U.に登録しているジュニアヨットクラブの提出する当該年度のジュニアセーラー名簿記載の選手

万一、未登録クラブの選手の場合は参加申込み時までにクラブの登録をして参加資格を取得して下さい。

(2)主催者が招待した海外チームの選手

(3)主催者が参加を認めた選手

(4)各級の年齢制限(平成22年4月2日現在)を満たす者

- * OP級・・・・・・・・・・・・・・・・・・8歳以上中学生以下
- * ミニホッパー級・・・・・・・・・・・・・・・・・・10歳以上中学生以下
- * シーホッパー級SR、レーザー4.7、セーリングスピリッツ級、FJ級、420級・・・・・・・・・・中学生以上高校生以下

(5)国内参加選手は2010年度JSAF会員である者

万一、会員未登録の場合は参加受付時に会員登録の申込みをして下さい。

(6)これまでの国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会及び日本少年少女オープンヨット大会の初級者種目で艇種に関係なく10位までの成績に入った者は、同一艇種に出場する場合はそれぞれの上級者種目に参加しなければなりません。但し、参加申込み時に第11項「表彰」の辞退を表明された場合はレース委員会の裁量で同種目の参加を認めます。

14 参加料等

- (1)参加料 選手・・・・・・・・・・・・・・・・8,000円 / 1人 (交流会費込み)
指導者・保護者・・・・・・・・ 5,000円 / 1人 (交流会費込み)
同伴小中高生・・・・・・・・・・2,000円 / 1人 (交流会費のみ)

- ・参加料は、単に選手のレース参加料と言う意味だけでなく、選手の応援、援助で本競技会に参加して頂く指導者、保護者の参加料という趣旨を含むものです。
- ・国際交流会は競技会の大切な行事です。是非とも選手はじめ指導者・保護者、同伴者は全員参加して下さい。レースに参加しない小中高生は交流会費だけの2,000円 / 1人をご負担下さい。

(2)弁当代(選手、指導者・保護者、同伴小中高生)・・・・・・・・700円 / 1食

(3)サポートボート持込み料・・・・・・・・・・・・・・・・2,000円(1艇に付き)

【注意事項】

※本競技会前日以降の参加取消しには原則として参加料等の返却は致しません。

※本競技会に参加料等を支払った選手、指導者・保護者と交流会費を支払った小中高生には参加記念品を配布します。

※交流会費を支払った証しとしてIDカードを用意し、弁当には引換券を用意します。

15 参加申込方法

所定の「参加申込書」と「参加選手リスト（名前には必ずフリカナを付けて下さい）」に必要事項を記入の上、期限までに下記申込み先宛郵送して下さい。またメール送信可能な方はできる限りファイルの送信で参加申込をお願いします。その場合の所定のファイル様式は下記の申込み先メールアドレスにお問合せいただければ返信いたします。

参加申込みと同時に、参加料等は申込み先とは別のJ.J.Y.U.の下記の郵便口座へ専用「払込取扱票」にクラブ名、各人数、金額等の必要事項を記入の上、振込手続きをして下さい。

※参加申込みと参加料等振込みはクラブ参加者を一括してクラブ代表者である指導者が行って下さい。

《申込み先》 〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-37-14
東京都ヨット連盟副理事長 落合光博
TEL 03-3722-7745
FAX 03-3722-7745
E-mail hiro-ochiai-1@k6.dion.ne.jp

《参加料等振込口座》 郵便口座番号：00190-1-713831
口座名義： 社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟

16 申込期限

「参加申込書」、「参加選手リスト」の郵送及び参加料等の専用「払込取扱票」による振込みは、平成22年7月1日(木)までに必着とします。

※競技会プログラムや参加記念品の準備のためにも申込期限は厳守して下さい。

17 サポートボートの持込み

「参加申込書」第5項に必要事項を記入の上郵送して下さい。その時に持込み料2,000円(1艇に付き)を参加料と一緒に振込んで下さい。

サポートボートは船舶検査済みであり、ヨットモーターボート保険(対人対物賠償責任保険、搭乗者傷害保険)に加入していることとします。

18 責任の所在

(1) 本競技会の主催者、関係各団体及びレース委員会は競技会期間中とその前後において発生した人的損傷もしくは生命の喪失または物的損傷もしくは遺失についてはいかなる責任も負いません。

(2) レースをスタートするか、あるいは継続するかを決める責任は選手の所属するクラブの代表者(責任者)及び各艇の選手自身にあります。(**RRS 4**を変更するものです。)

【問合せ先】

東京都ヨット連盟副理事長 落合光博

電話 03-3722-7745

FAX 03-3722-7745

携帯電話 090-6037-1737

E-mail hiro-ochiai-1@k6.dion.ne.jp